

令和2年度

下水道事業会計当初予算の概要

1. 下水道事業会計当初予算の概要

(1) 予算規模

※ 四捨五入の関係上、各表間の計数、増減率が合わない場合がある

(単位:百万円)

当初予算		令和 2 年度 A	令和 元 年度 B	前年度比	A - B
予	算 規 模	20,567	21,302	▲ 735	▲ 3.4%
	収 益 的 支 出 (3 条 予 算)	10,975	11,172	▲ 197	▲ 1.8%
	資 本 的 支 出 (4 条 予 算)	9,592	10,130	▲ 538	▲ 5.3%

(2) 予算のポイント

【前年度比較】

- ・ 予算規模 は、▲7.3億円 (▲3.4%) H26年度 (会計制度見直し) 以降最小
西部バイパス幹線工事や、企業債支払利息・減価償却費の減など
- ・ 下水道使用料 は、44.1億円 (+1.3%) 消費税率引き上げに伴い過去最大
- ・ 一般会計繰入金 は、37.9億円 (▲4.9%) 企業会計適用 (H23) 以降最小

【重点事項】

- ・ 浸水対策事業の推進 (日新ポンプ場放流きよ、宮川雨水幹線工事等) 8.5億円
- ・ ストックマネジメント、総合地震対策計画に基づく改築・更新事業の推進 19.2億円
- ・ 積極的な収入の確保 (MICS・バイオマス発電収入、広告料収入) 2.3億円

2. 業務計画

区 分		令和 2 年度	令和 元 年度	前年度比較	
				増減	率
水 洗 化 戸 数	戸	122,500	119,400 (121,900)	3,100 (600)	2.6% (0.5%)
水 洗 化 人 口	人	249,500	250,500 (248,800)	▲ 1,000 (700)	▲ 0.4% (0.3%)
年 間 総 処 理 水 量	m ³	41,110,920	41,127,170	▲ 16,250	0.0%
一 日 平 均 処 理 水 量	m ³	112,630	112,370	260	0.2%
年 間 総 有 収 水 量	m ³	27,587,430	27,589,560	▲ 2,130	0.0%
一 日 平 均 有 収 水 量	m ³	75,580	75,380	200	0.3%
下 水 道 処 理 人 口 普 及 率	%	63.9	64.2 (63.7)	▲ 0.3 (0.2)	—

※ () 内の数値は、R元年度見込み値及びその比較

※ R元年度は、閏年である

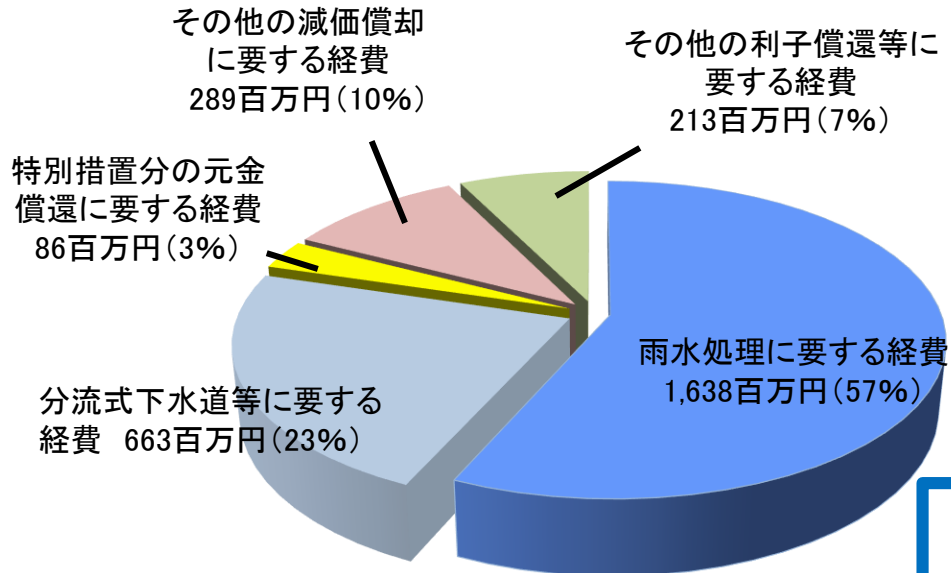
3. 重点事項（具体的な取組）

浸水対策の推進		8.5億円
新 日新ポンプ場放流きよ工事	シールドマシン設計・製作 全体事業費 15.9億円(R2~R4) 債務負担行為(R3~R4 12.2億円)	3.2億円
新 宮川雨水幹線工事 など	開削 L = 176m	3.7億円
ストックマネジメント計画及び総合地震対策計画に基づく改築・更新事業の計画的な実施		19.2億円
拡 スtockマネジメント計画	管きよ改築工事等 管更生等 L = 3,660m 4.6億円 蓋交換 N = 200基 0.5億円	5.1億円
拡 総合地震対策	施設改築・更新工事等 総合地震対策工事 管更生 L = 476m 2.4億円 人孔浮上対策 N = 10基 0.1億円 総合地震対策耐震診断業務等委託 管きよ L = 60.2km 0.7億円 処理場（2施設）ポンプ場（5施設） 2.1億円	8.7億円 2.5億円 2.8億円
経営健全化の推進・スマイルプランの推進・積極的な収入の確保		
経営健全化の推進	拡 包括的民間委託(処理場等) 全体事業費 50.3億円(R元~R5) 債務負担行為追加(R3~R5 8,790万円)	10.1億円
スマイルプランの推進	職員給与費の減 適正な人員配置、時間外削減	▲0.2億円
積極的な収入確保	MICS収入、バイオマス発電収入 新 広告料収入(施設フェンス等に看板設置)	2.3億円

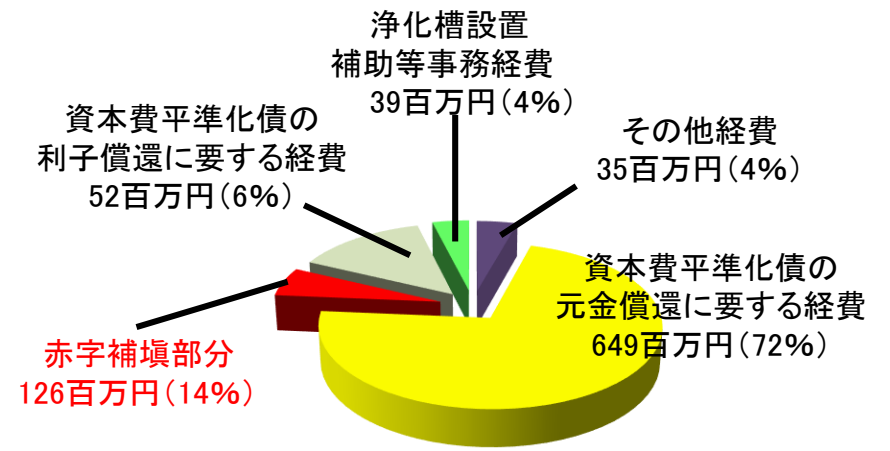
4. 一般会計から下水道事業会計への繰入金

(単位:百万円)

当初予算	令和2年度	令和元年度	増減	備考
下水道事業負担金 (3条予算)	2,929	3,305	▲ 376	減価償却・利子(雨水処理に要する経費、 分流式下水道等)など
下水道事業補助金 (3条予算)	127	1	126	水洗便所貸付金事務費 赤字補填
下水道事業出資金 (4条予算)	735	678	56	資本費平準化債(元金) 特別措置分(元金※交付税措置あり)
合計	3,791	3,984	▲ 194	
繰出基準内	2,889	3,248	▲ 359	総務省通知によるもの
繰出基準外 (うち赤字補填)	902 (126)	736 (-)	165 (126)	高松市の取決めによるもの

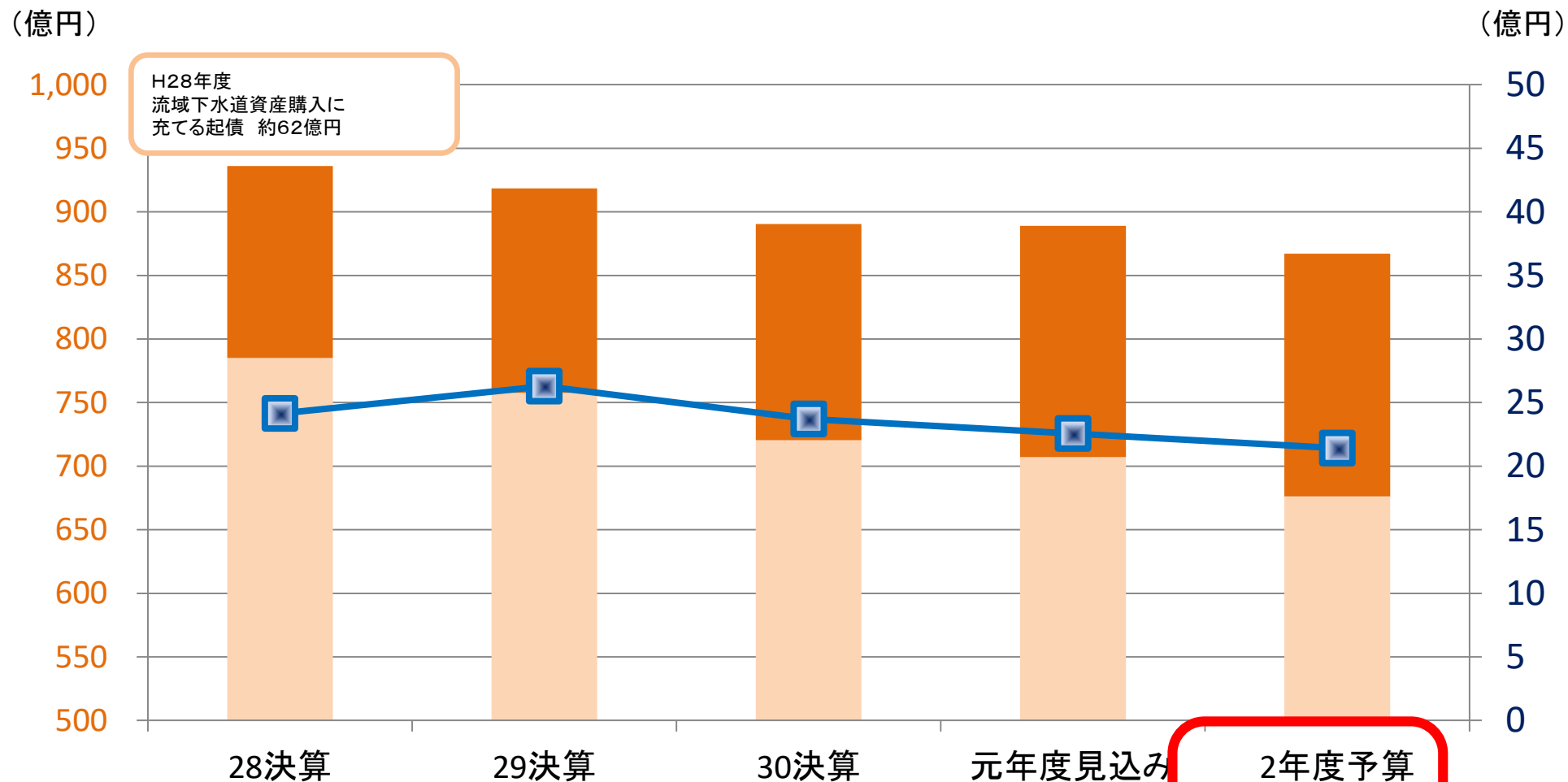


繰出基準内の内訳
2,889百万円【76%】



繰出基準外の内訳
902百万円【24%】

5. 企業債残高 及び 内部留保資金残高



企業債残高	936.0	918.4	890.4	889.0	867.1
建設改良債等	785.1	757.6	720.4	707.1	676.2
資本費平準化債	150.8	160.8	170.0	181.9	190.9
内部留保資金残高	24.1	26.3	23.7	22.6	21.4